

# 西合志第一小学校の歴史

## 創立～50周年



初代校長 横田五十城先生

## ルーツは寺子屋!?

西合志第一小学校の始まりは、弘生にあった寺子屋でした。明治時代に学制が出され、全国を各学区に大学、中学、小学校などを設立されました。明治7(1874)年2月に小合志の民家(吉村覚氏宅)を買収し、建築して「弘生小学校」として開校されました。

初代校長先生は、横田五十城(よこたいそぎ)先生でした。38年間、子弟の教育にあたり村民に敬愛されていました。昭和40(1965)年に、校歌が作られたと言われています。



## くすのきの歴史

### 樹齢128年、高さ35m!!

本山四郎八氏が、明治28(1895)年の3月に合志義塾の創立者の工藤左一さんと協力して、大きさ1m50cm足らずであった15本のくすのきを植えたそうです。

現在のくすのきの太さは、91,6cm。高さは、約35mです!くすのきの年齢は128歳にもなります。



昭和40年頃のくすのきの様子

## 開校当時の様子

### 地域の寄付で増築

校舎の増築は、各区民の寄付によるものでした。その費用を3カ月に分けて徴収されていたそうです。寄付金とはいいながら、全戸に割り当てるものであったようです。さらに義務教育が6年間に延長される際には、児童増加に備えて増築されました。



大正9年に撮影された全校写真

## 開校以前の様子

### 本当はお寺だった!?

金華山玉蓮寺というお寺の跡地に学校を建てました。現在の第一小は明治26(1893)年9月に小合志地区から玉蓮寺に新築移転したのが始まりです。工事費用は、320円で現在の価格にすると640万円もかかりました。

玉蓮寺は、戦国時代に焼けてなくなってしまいました。ひまわり教室前の石材は、玉蓮寺の五塔の上の部分がおかれておられるようです。



現在の玉蓮寺五重塔跡



# 西合志第一小学校の歴史

## 50周年～100周年

### 戦後の子供 裸足で登校

戦後の子供たちは裸足で登校していました。雨の日は傘をさして登校し、冬はたびを履かずに過ごしている時もあったそうです。4、5、6年生が校舎で勉強していましたが、南北向きの校舎なので、日があまり当たらず、とても寒かったそうです。戦中の教育から戦後の教育に変わり、教科書も訂正しなければならず、ところどころ墨で消して勉強をしていました。



昭和15年に撮影された校舎の様子

### 天皇巡幸

### 天皇陛下が来られた!!

戦後の昭和21(1946)年から昭和29(1954)年の間に、昭和天皇自ら、沖縄県を除く全国各地を巡られたそうです。熊本県には、昭和20(1945)年5月29日から6月1日の間に来られました。



昭和20年に撮影された昭和天皇巡幸



### 学校給食はじまる

### 最初はパンとミルク



給食開始 昭和33年に撮影された西合志南小の様子

今では、学校では当たり前の給食ですが、戦後は給食など学校で、できていませんでした。さらに、昔は生徒が野菜を持参していました。始まった当時は、調理用の燃料は薪を使ってました。

第一小では、昭和31(1956)年に、パンとミルクの給食が始まりました。そして昭和33(1958)年には、給食室を作り、おかずをつけたりしました。



### 過去の学校の授業風景



昭和12年に撮影された授業の様子

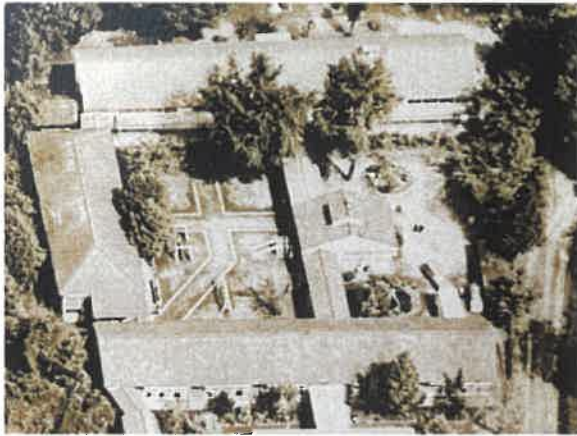
### 勉強どころではなかった

戦時中の第一小学校では、勉強ではなく工場や農業での勤労働員がまかされ、国民学校初等科の高学年にも食糧増産のための勤労奉仕が課せられました。空襲があって学校は勉強どころか「警報発令」と同時に避難することが日課になり、日に日に物不足や食糧不足もひどくなりました。勉強よりも「軍事教練」、木刀での戦いの練習をする日々でした。西合志第一国民学校は、陸軍の兵舎代わりに使われたため、学校に集まることもできませんでした。児童は、防空頭巾、モンペ、わらぞうりの服装でした。



# 西合志第一小学校の歴史

## 100周年～150周年



開校百周年記念航空写真 昭和49年撮影

## 校庭中央に大きな山桜

運動場の正面に本館の玄関があり、西側には新校舎と呼んでいた校舎がありました。本館のうちに2階建ての旧校舎があり、階下に家庭科室、東側の教室には高等科1・2年の教室がありました。校庭の中央に山桜の大木があり、卒業式前後の開花時期は、何とも言えないほど美しい花を咲かせていたそうです。冬場には、兎狩りや校舎にまくための砂を弘生の川から全校生徒でショウケを使って運んだときもあったそうです。夏休みには、天草の大矢野島へ6年生と保護者で2泊3日の海水浴にもいったそうです。

## 当時の時代背景

### 経済成長期 ゲームに熱中

昭和35(1960)年から昭和45(1970)年にかけての経済の高度成長は、子供たちに大きな影響を与えました。公害の発生や、事故がとも増え、人々への悪影響は、大きなものがありました。この頃の子供たちは、テレビゲームや漫画に熱中していました。



イメージ

## 記念碑とタイムカプセル

### 次の50年へ思いを引き継ぐ

当時の第19代蒔平幸男校長先生は、「カプセルは、当時の地域の人々の考え方や児童の生活が分かるような色々な作品を納めています。これまでの50年を振り返り、将来の発展を願っています。」と話されていたそうです。

タイムカプセルの中には、米、煙草、児童の作文などが納められています。令和6(2024)年10月13日にタイムカプセルが開封されました。また次の50年後へとみんなの思いが引き継がれていくことと思います。



100周年記念碑

## 卒業生へのインタビュー

### 自分たちの作品を未来へ

衛藤 瑞恵さん

Q タイムカプセルに入れたとき、また、今年開けることへのお気持ちは？

50年前の10月13日に、当時6年生だった私は児童会長として記念式典の舞台の上であいさつしたのをしっかりと記憶しています。自分たちの作品をきれいな状態で未来に残したいと思いながらタイムカプセルに入れました。今回タイムカプセルを開封する際、少し恥ずかしさもありますが、62歳になる年に開封することを心に決めていたので、とても嬉しく、そしてとても懐かしさを感じています。



## 図書室の歴史

### 寄贈800冊超「沼田文庫」

昭和30(1955)年には新校舎建築に伴って新しく図書館を造りました。

第一小学校には「沼田文庫」という書棚がありました。昭和30年代の後半から十数年にわたって匿名で送り続けられ、800冊を超えるまでになりました。

その後、送り主が分かり、第一小学校出身で、東京在住の沼田正勝氏であることが分かりました。今は沼田文庫はありませんが、私たちは本が大好きです。



現在の第一小の図書室





# 西合志第一小学校の歴史年表

## 開校～100年

- 1874年 小合志の民家（吉村覚氏宅）を買収、増築し「弘生学校」として開校
- 1877年 「第十三番中学区合志郡弘生学校」となる
- 1883年 「熊本県合志郡公立弘生小学校」となる
- 1888年 「熊本県合志郡尋常弘生小学校」となる
- 1892年 「合生尋常小学校」となる  
校舎を玉蓮寺跡に移転する



第一小って、こんなに名前が  
変わってきたんだね!!

- 1930年 「西合志第一尋常高等小学校」となる

- 1931年 満州事変

- 1941年 「西合志第一国民学校」となる  
太平洋戦争

- 1945年 終戦

- 1947年 「西合志第一小学校」となる

- 1954年 新校舎が立つ

- 1956年 完全給食開始  
ミルクとパンだけの給食はじまる

- 1963年 プール完成（560万円）  
校区の方々の協力で、簡易プールができる

- 1964年 東京オリンピック開幕

- 1965年 校歌制定



- 1966年 「西合志町立西合志第一小学校」となる

- 1968年 明治100年記念「仲よし園」完成

- 1972年 沖縄日本復帰

- 1974年 開校100年（全校児童131名）  
タイムカプセルを埋める



- 1975年 体育館建て直し



- 1979年 新校舎完成



## 100年～200年

- 1980年 竹馬大会



- 1981年 補強遠足（田原坂公園）

- 1982年 沼田正勝先生への感謝状贈呈式

- 1983年 プール塗装工事完了



- 1985年 南門完成

- 1986年 保健室拡張工事完了（500万円）

- 1987年 全校魚取り大会（プールで鯉つかみ）

- 1988年 西合志町少年剣道大会（体育館）

- 1989年 元号が昭和から平成になる

- 1991年 田植え



- 1995年 阪神淡路大震災

- 1998年 部活動開始

- 2005年 送別遠足（カントリーパーク）

合志市に  
合体!

- 2006年 合志町と西合志町が合併して合志市となる

- 2007年 自転車大会（西原村）

- 2010年 体育館大規模改修工事



- 2014年 桜の丘看板設置

- 2015年 積雪の為2時間遅れ開始（最低気温-7度）

- 2016年 プール床改修工事完了  
熊本地震発生 震度7を2回観測

- 2017年 上曜日授業（水泳大会）



- 2019年 元号が「令和」に改元

- 2020年 新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大

- 2021年 桜の丘整地（桜の丘プロジェクト）  
東京オリンピック・パラリンピック開幕

桜の丘は、この時の6年  
生がつくったよ!!



- 2022年 お別れ遠足（合生グラウンド）

- 2024年 開校150年（全校児童89名）  
低学年教室トイレ改装



開校200年!

- 2074年 開校200年



# 西合志第一小学校の歴史

## 150周年～



現在のくすの木

## 合志で一番の歴史 地域は教育熱心



第一小学校正門 令和2年撮影

西合志第一小校区は、合志市の北西部に位置し、北端は菊池市と隣接しています。明治7(1874)年の開校以来約150年の歴史を誇り、市内で最も歴史の古い学校です。地域全体が教育に熱心であり、学校に対する期待も大きいです。

学校は、校区北部にかけて田畑や鎮守の杜が点在するのどかな田園地帯です。一方、校区の南部にはIC関連の大手企業の工場や社会福祉施設・病院などがあります。

令和6(2024)年度は、5月に運動会がありました。赤と白の二つの団に分かれ、かけっこやリレー、玉いれといった競技のほか、応援団は歌や演奏で盛り上がりました。1～3年生と4～6年生に分かれた迫力のあるダンスを披露しました。

現在、全校生徒数は合計89人。1年生20人、2年生22人、3年生19人、4年生11人、5年生8人、6年生10人です。

### カタルパの木の歴史

#### 学問のシンボル

カタルパの木は、昭和26(1951)年に、新島襄(にいじまじょう)がアメリカから持ち帰った木です。明治25(1892)年に今の西合志に元教員平田一十と工藤左一が私塾を学問を受けられない子供たちのために、親せきや家族に助けをもらいながら作りました。そのときに、大江義塾から、創立者である徳富蘇峰に譲り受けたものが、今のカタルパの木になりました。第一小にも平成26(2014)年にカタルパの木が植えられました。



カタルパの木

### 合志義塾創立者

#### 工藤左一と平田一十

創立者の、工藤左一と平田一十はどちらも弘生小学校(今の第一小)を卒業しました。それぞれ、母校の教務補助に入りました。

平田は大江義塾で三年間学んだあと京都でも一年間学びました。

その後明治25(1892)年に、合志義塾を開塾しました。工藤29歳、平田28歳でした。開塾までの58年間6590人の卒業生が学びました。

二人は性格も違って生徒の教育にあたっては、対照的だったそうです。

### 西村羊治校長先生 インタビュー

#### やさしく素直で 元気な子どもたち



Q 第一小学校の子ども達をどう思いますか？

西合志第一小学校の児童のことを考えると、やさしい、素直、元気等の言葉が浮かんできます。校長先生は、ほぼ毎日みんなの授業の様子を見せてもらっていますが、担任の先生の授業にしっかり取り組み、素直に笑顔で頑張っている様子がたくさん見られます。また、友達関係がうまくいかなかったりしたときに、担任の先生は、保護者の方に相談して良い方向に解決し、友だちとの関係を良くしていこうと努力することができます。西合志第一小の子供たちは自分と違う相手のことを考えて、行動することができる人がたくさんいます。みんながみんなのことを受け入れて、包み込むやさしさがあります。そのやさしさを持ち続け、これからも誰とでも仲良く過ごしてほしいと願っています。

### 50年後の西合志第一小学校

#### 授業は講義動画になる

・一人ひとりが自分に合った講義動画を個別に視聴したりすると思います。

・今は昼休みサッカーをして遊んでいるけれど、50年後はタブレットなどを使って昼休み外で遊ぶ人は少なくなっていると思います。

・今の給食で人気の食べ物は、カレーです。その他揚げパン、ガバオライス、うどん、ジューシーライスなどもあります。50年後はお刺身が出ていると思います。

・今は、8時20分から3時30分までです。家を7時30分ごろに出る人が多いです。

登下校は歩いていきます。

50年後はもっと登下校が早くなっていると思います。

